

施策③ 自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化

利水・治水の安定化を図る農業用水利施設整備の推進



● 農業水利施設ストックマネジメント

仙台管内には、頭首工、揚水機場などの農業水利施設が865施設あります。その内80%の施設は標準耐用年数を超過しており、老朽化が進行しています。そのため、農業水利施設の劣化状況の把握や要因を特定する機能診断を行い、機能保全計画の作成を進め、改修等を計画的に実施しています。

管内	施設区分	施設数		標準耐用年数	標準耐用年数超過施設数		標準耐用年数超過施設数	
			占有率		2010年	超過割合	2020年	超過割合
仙 台	揚水機場	457	53%	20年	326	71%	413	91%
	用水機場	377	44%	20年	277	74%	345	92%
	排水機場	80	9%	20年	49	61%	68	85%
	頭首工 水門等	182	21%	50年	80	44%	97	53%
	計	865	100%		536	62%	692	80%
全 県 合 計		3,293			1,826	55%	2,509	76%

農業水利施設の経過年数の状況（R3年3月現在）

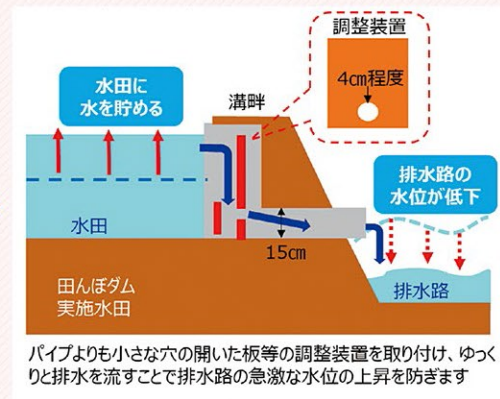
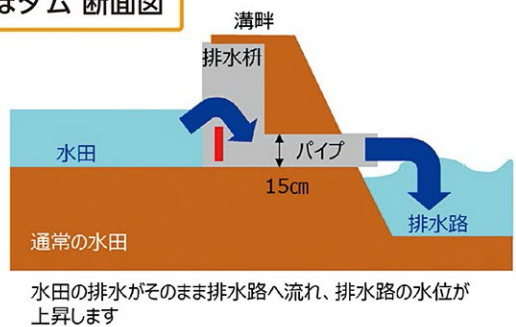
● 流域治水への転換と農業農村整備の役割

年々豪雨や台風等の発生頻度が増加しています。洪水や浸水被害等を防止するため、国、県、市町村、企業、住民等の関係者が一体的に取り組む流域治水への転換を進めます。また、農業農村整備の分野では、既存農業用ダムの洪水調節機能強化や水田の洪水防止機能を強化する目的で田んぼダムの整備を進めます。



排水状況の比較

田んぼダム 断面図



● ため池の防災・減災（R3.3時点）

仙台管内には、1,224カ所の農業用ため池があり、うち、278カ所が防災重点ため池に指定されています。防災重点ため池とは、ため池が決壊した場合の浸水区域に、家屋や公共施設が存在し、人的被害が想定されるため池のことです。防災重点ため池278カ所のうち211カ所のため池については自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したハザードマップを市町村が作成し、HPなどで周知を図っています。また、令和4年度から亘理町の境堤ため池の農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）に取り組みます。

● 仙台管内でハザードマップを公表している市町村はこちら

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-ns/tameikebousaimap.html>

